

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

● RAS遺伝子変異解析

(依頼コード No.12277)

受託開始日 2015年4月13日(月)受付分より

「大腸がん患者における RAS 遺伝子 (KRAS/NRAS 遺伝子) 変異の測定に関するガイドンス 第 2 版」(日本臨床腫瘍学会, 2014 年 4 月) では、抗 EGFR 抗体薬による治療を行う場合は、治療効果が期待できない患者への投薬を回避するために、事前に KRAS 及び NRAS 遺伝子のコドン 12,13,59,61,117,146 に存在する変異の有無を測定することが望ましいと記載されています。しかし、既存検査項目の K-ras 遺伝子変異解析(大腸癌)(依頼コード No. 2655, 2656)では、KRAS 遺伝子のコドン 12 あるいは 13 に存在する変異しか検出できませんでした。

本検査は、大腸癌の組織中の KRAS および NRAS 遺伝子のコドン 12,13,59,61,117,146 に存在する合計 48 種類の変異を検出できる体外診断用医薬品を使用しております。抗 EGFR 抗体薬を用いる際の RAS 遺伝子変異情報をより正確に得るための検査としてご利用ください。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場 1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play



Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis  
Medical Station

## 受託要領

依頼コード No.	(親) 12277 RAS 遺伝子変異解析
	(子) 20499 判定
	(子) 20500 KRAS コドン 12
	(子) 20501 KRAS コドン 13
	(子) 20502 KRAS コドン 59
	(子) 20503 KRAS コドン 61
	(子) 20504 KRAS コドン 117
	(子) 20505 KRAS コドン 146
	(子) 20506 NRAS コドン 12
	(子) 20507 NRAS コドン 13
	(子) 20508 NRAS コドン 59
	(子) 20509 NRAS コドン 61
(子) 20510 NRAS コドン 117	
(子) 20511 NRAS コドン 146	
統一コード	8C240-9951-070-898
検体必要量	未染色パラフィン切片10μm厚 5~10枚 組織 50mg
容器	B-20
検体の保存方法	未染色パラフィン切片：室温 組織：凍結
所要日数	4~8
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	変異陰性
単位	なし
報告形式	判定：「変異陰性」あるいは「変異陽性」 各コドン：「変異陰性」あるいは検出された変異 (コドン12にGlyからAspのアミノ酸変異が検出された場合：G12D)
検査実施料/判断料	2500点/34点(尿・糞便等検査)
備考	検体の選択にあたっては、日本臨床腫瘍学会の「大腸がん患者におけるRAS遺伝子(KRAS/NRAS遺伝子)変異の測定に関するガイダンス 第2版, 2014.」をご参照ください。

【参考文献】 Bando, H. et al. : BMC Cancer 13, 405, 2013.

日本臨床腫瘍学会：大腸がん患者におけるRAS遺伝子(KRAS/NRAS遺伝子)変異の測定に関するガイダンス 第2版, 2014.